

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道茅沼鉦山泊線道路局部改良事業	北海道	9,922,000	9,922,000	
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道岩内蘭越線道路局部改良事業	北海道	4,488,000	4,488,000	
3	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道岩内洞爺線ほか道路局部改良事業	北海道	1,958,000	1,958,000	
4	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	堀株川ほか河川改修事業	北海道	62,964,000	62,964,000	
5	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	玉川河川改修事業	北海道	39,952,000	39,952,000	
6	地域活性化措置	岩宇まちづくり連携支援事業	北海道	6,047,147	6,047,147	
7	地域活性化措置	豊かな海の森づくりモデル構築事業	北海道	1,699,973	1,699,973	
8	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	岩内町道整備事業	岩内町	50,820,000	50,600,000	
9	地域活性化措置	都市公園（含翠園）改修事業	岩内町	12,446,000	12,400,000	
10	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	岩内地域人材開発センター大規模改修事業	岩内町	5,720,000	5,700,000	
11	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	簡易水道施設更新事業	泊村	340,670,000	340,600,000	
12	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	神恵内保育所等複合施設整備事業	神恵内村	353,650,000	273,865,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道茅沼鉦山泊線道路局部改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		泊村
交付金事業の概要	<p>本路線は、地域住民の重要な生活道路であるとともに、現在整備中の道道泊共和線が完成すると、海岸沿いの国道229号と内陸部の国道5号を結ぶ重要な避難経路となり、交通量の増加が見込まれる。しかし、現状では舗装のひび割れや側溝及びガードケーブルの劣化が進行しており、道路走行環境の改善が必要なことから、道道泊共和線の事業完了予定年度である令和4年度までに道路補修を実施する。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度） 1 生活・安心 （7）強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮 ■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服 火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。</p> <p>当事業の実施により、安全な交通環境を確保するとともに、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することで、地域住民の安全・安心に寄与する。</p> <p>当該路線全延長5.1kmのうち、泊共和線の事業完了にあわせ対策が必要な延長に対し、走行環境を改善した割合100%（令和4年度） ※基準値 0%（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和4年度				
事業期間の設定理由	令和4年度までに道路補修を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度		
	走行環境が改善された割合	走行環境が改善された割合 100 %	成果実績	%			
			目標値	%	100		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業完了時に成果が把握できるため令和4年度に評価						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本交付金を活用して、令和元年度については道路走行環境の改善L=56mを実施し、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することができました。 引き続き、道路環境の整備に努め、地域住民の安心・安全に寄与する道路環境の確保に努めます。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	道路補修延長 m		活動実績	m	56		
			活動見込	m	60		
			達成度	%	93.3%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考			
総事業費	9,922,000						
交付金充当額	9,922,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	9,922,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
道路補修工事費		指名競争入札		株式会社 後志建設（共和町）		9,922,000	
交付金事業の担当課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						
交付金事業の評価課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道岩内蘭越線道路局部改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		岩内町
交付金事業の概要	<p>本路線は災害等の緊急時に地域住民の円滑な避難に資する重要な道路となっている。避難経路に指定されている本路線には約0.3kmの急勾配区間があり、積雪期の安全な交通の確保のためにロードヒーティングが設置されているが、分電盤筐体の腐食など施設の老朽化が進んでおり、漏電や機能低下を防ぐことが必要である。そのため、ロードヒーティング施設について、筐体の更新及び内部機器の補修を実施する。</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度）</p> <p>1 生活・安心</p> <p>（7）強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮</p> <p>■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服</p> <p>火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。</p> <p>当事業の実施により、ロードヒーティングの機能低下に伴う利用者被害や交通規制の発生を回避・抑制することが可能となり、地域住民の安全・安心に寄与する。</p> <p>当該路線全延長3.1kmのうち、ロードヒーティング区間の延長0.2kmに対し、走行環境が改善された割合 100%（令和3年度）</p> <p>※基準値 0%（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和3年度			
事業期間の設定理由	令和3年度までにロードヒーティング施設の更新、補修を完了するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
	走行環境が改善された割合	走行環境が改善された割合 100 %	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	事業完了時に成果が把握できるため令和3年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本交付金をを活用して、ロードヒーティング施設の補修を行うことで、利用者被害や交通規制の発生を回避・抑制することが可能となり、地域住民の安全・安心に寄与することが期待されます。引き続き、ロードヒーティング施設の補修を進め、積雪期の安全な交通の確保に努めます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	ロードヒーティング施設の更新、補修延長 km	活動実績	km	0		
		活動見込	km	0		
		達成度	%	0.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	4,488,000					
交付金充当額	4,488,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,488,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
ロードヒーティング調査設計費		指名競争入札		ダイシン設計 株式会社（札幌市）		4,488,000
交付金事業の担当課室	北海道建設部建設政策局維持管理課					
交付金事業の評価課室	北海道建設部建設政策局維持管理課					

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
3	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	道道岩内洞爺線ほか道路局部改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		共和町 岩内町 ほか
交付金事業の概要	<p>海岸沿いの国道229号に沿う岩宇地域では、災害等の緊急時に地域住民の円滑な避難や救助活動に資する重要な道路として、内陸部へ向かう複数の道道が緊急輸送道路等に指定されているが、夜間の安全な避難にも資する道路照明の老朽化が進んでおり、倒壊などを未然に防止するために更新等が必要な道路照明がある。そのため、健全性判定結果により予防保全の観点から措置を講ずることが望ましいとされている道路照明の更新等を行う。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度）</p> <p>1 生活・安心</p> <p>（7）強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮</p> <p>■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服</p> <p>火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。</p> <p>当事業の実施により、道路照明の倒壊等による利用者被害や交通規制などの発生を回避・抑制することが可能となり、災害時の安全な避難も確保され、地域住民の安全・安心に寄与する。</p> <p>4か町村における道道の道路照明施設292基のうち、異常ありの診断79基に対策を実施した割合 42%（令和3年度）</p> <p>※基準値 0%（平成29年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和3年度				
事業期間の設定理由	令和3年度までに道路照明施設の更新、補修を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度		
	対策を実施した割合	対策を実施した割合 42 %	成果実績	%			
			目標値	%	42		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業完了時に成果が把握できるため令和3年度に評価						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>本交付金を活用して、道路照明施設の更新等を行うことで、利用者被害や交通規制などの発生を回避・抑制することが可能となり、災害時の安全な避難も確保され、地域住民の安全・安心に寄与することが期待されます。</p> <p>引き続き、道路照明施設の更新を進め、夜間の安全な避難に資する道路環境を確保に努めます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	道路照明施設の更新、補修数 基		活動実績	基	0		
			活動見込	基	0		
			達成度	%	0.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考			
総事業費	1,958,000						
交付金充当額	1,958,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	1,958,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
道路照明施設調査設計費		指名競争入札		ダイシン設計 株式会社（札幌市）		1,958,000	
交付金事業の担当課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						
交付金事業の評価課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
4	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	堀株川ほか河川改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		共和町
交付金事業の概要	<p>堀株川流域には、災害等の緊急時に地域住民の円滑な避難や救援活動に資する重要な道路である国道及び道道が並行しているほか、防災上重要な避難施設である中学校も立地しているが、河道内の堆積土砂や樹木等により河川の流下能力が低下しており、出水時の洪水氾濫の原因となる恐れがあることから、早期の対策が必要である。そのため、堀株川水系の堀株川、発足川、泥川の河道内堆積土砂の除去、樹木伐採を実施する。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度） 1 生活・安心 (7) 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮 ■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服 火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。</p> <p>当事業の実施により、洪水被害が軽減され災害等緊急時の円滑な避難や救助活動が可能となることで、地域住民の安全・安心に大きく寄与する。</p> <p>当該河川の合計管理延長21.5kmのうち、河積阻害の改善が必要な箇所において対策を実施した割合 100%（令和2年度） ※基準値 0%（平成28年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和2年度			
事業期間の設定理由	令和2年度までに河道内堆積土砂の掘削、樹木伐採を完了するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度	
	対策を実施した割合	対策を実施した割合 100 %	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	事業完了時に成果が把握できるため令和2年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
本交付金を活用して、河積阻害の改善が必要な範囲L=5.55kmにおいて、河道内堆積土砂の除去及び樹木伐採を実施し、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することができました。 引き続き、災害等緊急時の円滑な避難や救助活動が可能となるよう河積阻害の改善に努め、地域住民の安心・安全の確保に努めます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	河道内堆積土砂の掘削、樹木伐採延長 km	活動実績	km	5.55		
		活動見込	km	5.55		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	62,964,000					
交付金充当額	62,964,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	62,964,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
河川改修工事費		一般競争入札		三陽建設工業 株式会社（共和町）		62,964,000
交付金事業の担当課室	北海道建設部建設政策局維持管理課					
交付金事業の評価課室	北海道建設部建設政策局維持管理課					

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
5	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	玉川河川改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		泊村
交付金事業の概要	<p>玉川流域には、現在整備されている道道泊共和線の完成により、海岸沿いの国道229号と内陸部の国道5号を結ぶ重要な避難経路となる道道茅沼鉦山泊線が並行しているが、河川洗掘に伴う護岸の損壊・損傷が進み、出水時の洪水氾濫の原因になる恐れがあることから、早期の対策が必要である。そのため、玉川の護岸改修を実施する。</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度）</p> <p>1 生活・安心</p> <p>（7）強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮</p> <p>■大規模自然災害に対する北海道自ら脆弱性の克服</p> <p>火山噴火や土砂災害、大規模地震、津波、洪水などの各種災害に対応したハザードマップや避難計画の策定、指定緊急避難場所や指定避難場所の指定、防災訓練の実施などの取組を促進するほか、道路施設をはじめ治水・砂防・海岸保全など防災上重要な公共施設の整備や適切な維持管理を推進します。</p> <p>当事業の実施により、洪水氾濫が軽減され、避難経路の道道茅沼鉦山泊線の通行が確保され、災害等緊急時の円滑な避難や救援活動が可能となり、地域住民の安全・安心に大きく寄与する。</p> <p>当該河川の全管理延長5.2kmのうち、護岸改修が必要な延長に対策を実施した割合 32%（令和2年度） ※基準値 13%（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和2年度				
事業期間の設定理由	令和2年度までに護岸改修を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度		
	対策を実施した割合	対策を実施した割合 32%	成果実績	%			
			目標値	%	32		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業完了時に成果が把握できるため令和2年度に評価						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
本交付金を活用して、護岸改修が必要な範囲L=156.1mにおいて改修工事を実施することにより、並行する避難経路である道道茅沼鉦山泊線の通行が確保され、災害等緊急時に安全に避難できるようになりました。引き続き、災害等緊急時の円滑な避難や救助活動が可能となるよう護岸改修に努め、地域住民の安心・安全の確保に努めます。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	護岸改修延長 m		活動実績	m	156		
			活動見込	m	266		
			達成度	%	58.7%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考			
総事業費	39,952,000						
交付金充当額	39,952,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	39,952,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
河川改修工事費		一般競争入札		茅沼建設工業 株式会社（泊村）		39,952,000	
交付金事業の担当課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						
交付金事業の評価課室	北海道建設部建設政策局維持管理課						

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
6	地域活性化措置	岩宇まちづくり連携支援事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道
交付金事業実施場所		岩宇4か町村
交付金事業の概要	<p>岩宇地域が発展するために観光に取り組むことは極めて重要であり、隣接するニセコエリアでは、近年、長期滞在型の外国人観光客が急増していることから、その外国人観光客を岩宇地域に呼び込むために、外国人を対象とした観光モニターツアーの実施、観光PR動画の作成、DMOの設立に向けた専門研修などに取り組み、地域の広域観光体制や外国人観光客の受け入れ体制を整える。</p> <p>また、長期滞在型の外国人を地域に受け入れるためには、外国人も日本人も分け隔てなくおもてなしをし、その地のファンになってもらえるような地域の素地が大切であることから、そういった対応ができるグローバル人材の育成が必要であり、異なる文化への寛容性や地域に誇りを持つきっかけを子ども頃に与える取組をイングリッシュアドベンチャー事業として、岩宇地域の子どもを対象にニセコエリアに居住する外国人の子どもとともに、外国人インストラクターによる地域資源を活かした夏、冬のアクティビティを実施する。</p>	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標

「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度）

2 経済・産業

(6) 多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進

■ 食や自然環境など豊富な資源を活かした滞在交流型の観光地づくり

○ 観光産業従事者の人材育成をはじめ、交通ネットワークの充実、Wi-Fi環境の整備、観光主要施設における多言語対応の強化、ムスリム対応など、外国人観光客が安心して快適に旅行できる受入体制の整備を促進します。

○ 観光振興に関する様々な取組を地域の状況に応じ効果的に進めるため、本道観光の中核的推進組織である北海道観光振興機構の機能拡充を図るとともに、観光地域づくりの舵取り役としての役割を担うDMOの形成・確立に向けた取組を促進するなど、官民一体となった取組を推進します。

■ 国内外への効果的な誘客活動による旅行市場の拡大

○ 旅行市場の更なる拡大が期待される、アジアをはじめとした国内外からの誘客を拡大するため、満足度の高い旅行商品の造成を促進します。また、四季折々の美しい自然や多彩な食、特有の生活文化など、本道の魅力を多様なメディアを活用し、戦略的に発信します。

3 人・地域

(2) 北海道の未来を拓く人材の育成

■ グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成

活力ある未来を拓くため、若者の留学支援や世界を舞台に活躍できる人材の育成、既成概念にとられないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進します。

当事業の実施により、岩宇地域の観光資源を有機的に結びつけ、効果的に発信することで、岩宇エリアにニセコエリアのインバウンドの誘客促進をはじめとする観光入込全体の底上げが図ることで、地域の産業の柱の一つとして観光の振興を進める。

また、イングリッシュアドベンチャー事業では、多文化交流・体験の実証を行い、培ったノウハウを地域に還元することで岩宇地域の効果的な人材育成に役立てる。

・岩宇4か町村の外国人宿泊客延数 900人（令和5年度） ※基準値 356人（平成29年度）

・岩宇4か町村の観光入込客数 116万人（令和5年度） ※基準値 93万7千人（平成29年度）

・イングリッシュアドベンチャー事業のノウハウを地域に還元し、当該取組終了後は岩宇地域で取組が継続される。（令和6年度）

事業開始年度	令和元年度		事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由	令和5年度までに当該支援事業を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度	
	岩宇4か町村 外国人宿泊延数	岩宇4か町村 外国人宿泊延数 900人	成果実績	人			
			目標値	人	900		
			達成度	%			
	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度	
	岩宇4か町村 観光入込客数	岩宇4か町村 観光入込客数 116万人	成果実績	万人			
			目標値	万人	116		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	事業完了後に成果が把握できるため令和6年度に評価						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	成果目標：イングリッシュアドベンチャー事業のノウハウを地域に還元し、当該取組終了後は岩宇地域で取組が継続される。						
○観光関連事業							
<ul style="list-style-type: none"> 本交付金の活用により、外国人を対象とした観光モニターツアーの実施、観光PR動画の作成、DMOの設立に向けた専門研修などに取り組み、地域の広域観光体制や外国人観光客の受入体制を整備することができた。 引き続き、観光商品の造成や受入体制の整備を進めるとともに、これらの資源を活用して観光地域づくりを進める組織の支援に注力することにより、岩宇地域の発展を図ってまいる。 							
○岩宇イングリッシュアドベンチャー事業							
<ul style="list-style-type: none"> 地元事業者とイングリッシュアドベンチャー事業を実施したことで、事業の進め方が共有された。 参加料金を5,000円に設定したが、参加者の親の意見をアンケートでは6割が妥当、4割が安いと感じており、概ね地元のニーズに沿った指標と考えられる。 冬の開催が悪天候（警報）等のため、中止になったが、引き続き事業を実施し、ノウハウを引き継いでいく必要がある。 							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	イングリッシュアドベンチャー参加人数	活動実績	人	14			
		活動見込	人	60			
		達成度	%	23.3%			

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
総事業費	6,047,147			
交付金充当額	6,047,147			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6,047,147			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
委託業務(観光モニターツアー等)	随意契約	(株)北海道宝島旅行社(札幌市)	4,131,788	
委託業務(岩宇イングリッシュアトベンチャー)	随意契約	IWANAI UNITED 代表 目黒 沙弥(岩内町)	1,516,209	
使用料(イングリッシュ会場等借上)	随意契約	三田農林株式会社 三田牧場(共和町)	100,800	
使用料(イングリッシュ会場借上)	随意契約	木滑 雄大(神恵内村)	56,700	
使用料(イングリッシュキャンプ用品借上)	随意契約	CAMPDAYS北海道 水口 朋(蘭越町)	45,850	
使用料(イングリッシュ会場等借上)	随意契約	岩内町長 上岡 雄司(岩内町)	34,500	
使用料(イングリッシュ会場等借上)	随意契約	(株)沿海調査エンジニアリング(札幌市)	42,500	
使用料(イングリッシュバス借上)	随意契約	ニセコバス株式会社 代表取締役 高林 永次(ニセコ町)	118,800	
交付金事業の担当課室	北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課 北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課			
交付金事業の評価課室	北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課 北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課			

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
7	地域活性化措置	豊かな海の森づくりモデル構築事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北海道	
交付金事業実施場所		神恵内村	
交付金事業の概要	<p>地域を支える産業の一つである漁業は、漁業者の減少・高齢化など非常に厳しい状況にあり、漁業の経営安定に向けた取組が必要となっている。また、コンブ等の海藻で形成される藻場は、魚類の生育場所やウニの餌料として重要な役割を果たしているが、海藻が生えなくなる磯焼けが進行しており、それに伴うようにウニの漁獲量が減少しており、藻場の回復が必要となっていることから、適切な漁場管理と藻場造成のモデルを確立し、藻場再生を地域に普及させる。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「北海道総合計画」（平成28年度～令和7年度） 2 経済・産業 (1) 農林水産業の持続的な成長 ■水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり 水産資源の回復・増大や水域環境の保全を図るため、適切な資源管理や海域の特性に応じた栽培漁業を推進するとともに、密漁取締体制の強化やトドなどの海獣による漁業被害対策を進めます。 また、日本海地域において、増養殖を柱とした新たな生産体制づくりを進めます。</p> <p>当事業の実施により、適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法が確立され、地域に普及することでウニの漁獲量の増加に寄与する。</p> <p>成果指標：ウニの漁獲数量 数量：3,647 kg（令和5年度）</p> <p>適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法を確立し、神恵内村及び古宇郡漁業協同組合へその技術を移転する。（令和6年度）</p>		
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由	令和5年度までにモデル手法を確立するため		

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和6年度
	ウニの漁獲数量	ウニの漁獲数量 3,647 kg	成果実績	kg				
			目標値	kg				3,647
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	事業完了後に成果が把握できるため令和6年度に評価							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	成果目標：適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法を確立し、神恵内村及び古宇郡漁業協同組合へその技術を移転する。							
	本交付金の活用により、コンブ胞子体付着基質の散布、コンブ遊走子付着基質の設置及びモニタリング調査等を実施することにより、事業効果に係る情報を収集することができた。引き続き、事業効果に係る情報を収集に努め、適切な漁場管理と藻場造成のモデル手法を確立し、技術の移転を図って参りたい。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指 標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	造成漁場面積 ha		活動実績	ha	0.2			
			活動見込	ha	0.2			
			達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業 費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考				
	総事業費	1,699,973						
	交付金充当額	1,699,973						
	うち文部科学省分							
	うち経済産業省分	1,699,973						

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
需用費 目印ブイ資材の購入費	随意契約	(株)海洋探査 (小樽市)	15,573
需用費 コンブ遊走子付着基質の購入費	随意契約	(株)海洋探査 (小樽市)	261,800
需用費 コンブ胞子体付着基質の購入費	随意契約	(株)エコニクス (札幌市)	110,000
役務費 潜水作業 (適切な漁場管理)	随意契約	(株)エコニクス (札幌市)	324,000
役務費 潜水作業 (効果的な藻場造成)	随意契約	(株)エコニクス (札幌市)	169,400
委託料 モニタリング調査	随意契約	(株)エコニクス (札幌市)	680,000
使用料 用船料 (適切な漁場管理)	随意契約	柴崎政弘 (神恵内村)	43,200
使用料 用船料 (効果的な藻場造成)	随意契約	柴崎政弘 (神恵内村)	44,000
使用料 用船料 (適切な漁場管理)	随意契約	小倉秀治 (神恵内村)	43,200
旅費 (適切な漁場管理・効果的な藻場造成)	直轄		8,800
交付金事業の担当課室	北海道後志総合振興局	産業振興部水産課	
交付金事業の評価課室	北海道後志総合振興局	産業振興部水産課	

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
8	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	岩内町道整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	岩内町	
交付金事業実施場所	岩内町	
交付金事業の概要	<p>岩内町地域防災計画において、津波避難対象地域の住民が避難所に安全に避難するための津波災害避難路に位置づけられている町道八幡南岩内川通りなどの7路線においては、道路の路盤構成が脆弱であるため、融雪期には亀甲状クラック、轍堀れ、ポットホールが発生するなど安全な交通に支障が生じている。また、町道薄田通りは歩道が未整備であることから、災害時に安全に避難できない状況にある。そのため舗装の補修及び舗装の新設を行うとともに、歩道を新設する。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「岩内町過疎地域自立促進市町村計画」（平成28年度～令和2年度） 3. 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進 (1) 現況と問題点（道路）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道229号以南の町道は、車道部分のみ防じん舗装で歩道部分は未整備の区間が多く残されていることから、今後においては、防じん舗装の修繕や簡易舗装及び高級舗装の必要性・緊急性を総合的に判断した中で、計画的な整備が必要となっています。 <p>当事業の実施により、安全な交通環境を確保するとともに、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することで、地域住民の安全・安心に寄与する。</p> <p>津波災害避難路の当該路線において、舗装、舗装改修及び歩道新設が必要な延長（1.715km）のうち、走行・歩行環境が改善された割合76%（令和5年度） ※基準値 0%（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由	令和5年度までに道路整備を完了するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和5年度	
	走行・歩行環境が改善された割合	走行・歩行環境が改善された割合 76%	成果実績	%		
			目標値	%	76.0%	
			達成度	%	0.0%	
	評価年度の設定理由					
	事業完了時に成果が把握出来るため令和5年度に評価					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金を活用し、岩内町道整備事業を実施することで安全な交通環境を確保するとともに、災害時にも安全に避難できる道路環境を整備することで、地域住民の安全・安心に寄与することができました。引き続き本交付金を活用しながら、交通環境及び道路環境を整備することで地域住民の福祉の向上を図っていきます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無し						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	町道整備の進捗延長(m)	活動実績	m	294		
		活動見込	m	294		
		達成度	%	100.0%	0.0%	0.0%
交付金事業の総事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	50,820,000					
交付金充当額	50,600,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	50,600,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
光照寺横通り舗装補修工事		指名競争入札		道央舗道株式会社後志出張所（岩内町）		7,480,000
高台3号線舗装新設工事		指名競争入札		道央舗道株式会社後志出張所（岩内町）		8,690,000
薄田通り歩道新設工事		指名競争入札		株式会社佐々木組（岩内町）		34,650,000
交付金事業の担当課室	岩内町建設水道部建設住宅課（土木・港湾・管理 担当）					
交付金事業の評価課室	岩内町企画経済部企画産業課（企画・原子力発電所担当）					

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
9	地域活性化措置	都市公園（含翠園）改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岩内町
交付金事業実施場所		岩内町
交付金事業の概要	<p>当事業の実施により、含翠園本来の魅力を取り戻し、一層利用しやすくなることで、岩内町における寺院と神社を結ぶ「歴史ふれあいゾーン」の中間に位置する施設として、外国人を対象としたモニターツアーの実施など多くの人に利用されることで、地域の歴史を広く発信する観光資源の一つになるとともに、住民憩いの場としての役割を果たす。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「岩内町都市計画マスタープラン」（平成17年度～令和6年度） IV. 全体構想 3. 将来都市構造 （1）自然や歴史とのふれあいゾーンづくり ・ 寺社や各種遺跡及び庭園等の歴史的遺産の保全・活用を図るとともに、これらを連絡する「歴史の散歩道」の整備を図る。</p> <p>当事業の実施により、含翠園本来の魅力を取り戻し、一層利用しやすくなることで、岩内町における寺院と神社を結ぶ「歴史ふれあいゾーン」の中間に位置する施設として、外国人を対象としたモニターツアーの実施など多くの人に利用されることで、地域の歴史を広く発信する観光資源の一つになるとともに、住民憩いの場としての役割を果たす。</p> <p>含翠園の年間利用者数 5,300人（令和6年度） ※基準値 180人（平成29年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由	令和5年度までに公園整備を完了するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度	
	含翠園の年間利用者数	含翠園の年間利用者数 5,300人	成果実績	%		
			目標値	%	5,300	
			達成度	%	0.0%	
	評価年度の設定理由					
	整備後の利用者数への影響を調査し、評価へ反映させるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金を活用し、都市公園（含翠園）改修事業を実施することで、都市公園の機能を確保するとともに、都市環境を整備することで、地域住民の憩いの場の保全に寄与することができました。引き続き本交付金を活用しながら、都市環境及び町民憩いの場を整備することで地域住民の福祉の向上を図っていきます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無し						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	改修（整備）面積(m ²)	活動実績	m ²	0		
		活動見込	m ²	0		
		達成度	%	0.0%	0.0%	0.0%
交付金事業の総事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	12,446,000					
交付金充当額	12,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	12,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
含翠園改修基本設計（現況測量）業務		指名競争入札		株式会社牧野測量（札幌市）		2,106,000
含翠園改修基本設計業務		指名競争入札		株式会社シビテック（札幌市）		10,340,000
交付金事業の担当課室	岩内町建設水道部建設住宅課（土木・港湾・管理 担当）					
交付金事業の評価課室	岩内町企画経済部企画産業課（企画・原子力発電所担当）					

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
10	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	岩内地域人材開発センター大規模改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岩内町
交付金事業実施場所		岩内町字東山
交付金事業の概要	<p>岩内地域人材開発センターは、道立職業訓練学校の廃止に伴い平成7年より岩内町に移管され、以後、職業技術者の育成施設として、岩宇4町村官民協働の運営協会により各種事業を実施しており、小樽市を除く後志管内唯一の職業訓練施設として職業能力開発促進法による土木工事・建設工事等の認定訓練を実施している他、独自に介護職や一般事務職の能力研修等を実施し、地域の人材育成の場として、重要な位置づけとなっている。しかしながら、体育館施設の照明が暗く、暖房能力が低いことから、冬場の訓練が実施出来ない状態にあり、他の研修室においても老朽化による照明設備や暖房設備の機能低下、トイレ設備のバリアフリー化未実施など、訓練実施のための環境整備が十分に整っていないことから、当該センターの大規模改修及び耐震化を実施する。</p> <p>（令和元年度：耐震診断業務 令和2年度：実施設計業務 令和3年度：大規模改修工事）</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「岩内町総合戦略」（平成27年度～令和元年度） 基本目標1 安定した雇用の創出 重点項目③：岩宇地域4町村広域での若年労働者の就労支援、定着支援を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩宇地域は同一経済圏であることから、若年層等が就労できる事業者が多い、岩内町で若年者や子育てで離職している女性を対象に、就労に向けた基礎研修や経済団体・就労支援機関と連携し、職場研修などを実施する。 ・受講者のために資格取得を幅広く実施し、若年層等の就労の定着を促進する。 <p>当該事業の実施により、地域人材育成の環境充実を図ることで、雇用促進と地域産業の活性化が図られる。</p> <p>岩内地域人材開発センターの年間利用者数 17,000人（令和4年度） ※基準値 15,300人（平成29年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和3年度				
事業期間の設定理由	令和3年度までに人材開発センターの改修を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度		
	岩内地域人材開発センターの年間利用者数	岩内地域人材開発センターの年間利用者数 17,000人	成果実績	人			
			目標値	人	17,000		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	整備後、利用者数への影響を調査し、評価へ反映させるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金を活用し、人材開発センター大規模改修事業を実施することで、職業訓練施設の機能を確保するとともに、地域における人材育成の環境充実を図ることで、地域住民の雇用促進と地域産業の活性化に寄与することができました。引き続き本交付金を活用しながら、人材育成の環境を整備することで地域住民の雇用促進と地域産業の活性化を図っていきます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無し							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	改修（整備）面積（㎡）		活動実績	㎡	0		
			活動見込	㎡	0		
			達成度	%	0.0%	0.0%	0.0%
交付金事業の総事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考			
総事業費	5,720,000						
交付金充当額	5,700,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	5,700,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
岩内地域人材開発センター 体育館耐震診断業務		指名競争入札		株式会社創健社（札幌市）		5,720,000	
交付金事業の担当課室	岩内町企画経済部企画産業課（観光・商工労働・企業対策担当）						
交付金事業の評価課室	岩内町企画経済部企画産業課（企画・原子力発電所担当）						

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
11	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	簡易水道施設更新事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		泊村
交付金事業実施場所		泊村大字泊村
交付金事業の概要	<p>泊村の水道施設は稼働から30年以上経過しており、すべての施設において建屋全体の乾燥と温度変化により発生するひび割れやモルタル剥離が多くみられ、更に、屋上には植物が群生しており、防水層の破断による漏水等が懸念されている。また、機械設備についても、法定耐用年数を超過した設備も多数存在するとともに、法定耐用年数内の設備でも修理が難しい上、錆や腐食が多く、現状のままでは今後の運営に支障をきたし、住民生活に大きな影響を与える恐れがあることから、浄水場及び配水池の建屋等の補修や、既存施設の更新、追塩施設の新設を実施する。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「第4次泊村総合計画」（平成23年～令和2年度） 基本計画⑤ 誰もが充実した快適な暮らしのある村づくり 財政状況を考慮した計画的な基盤整備 簡易水道の安定供給 老朽管及び施設の計画的更新による水道水の安定供給を図ります。</p> <p>当事業の実施により、浄水場及び配水池の建屋の補修により災害時や緊急時の故障リスクが抑えられ、故障発生時においても修理等の対応が容易となり早期復旧に資する。更に既存設備の更新により衛生的に取水が行われることにより地域住民の環境衛生の向上に大きく寄与する。又、配水池への追塩設備の新設により、村内全域への適正値の塩素濃度を保った水の供給が可能となり、臭気や味の改善及び健康被害リスクが低減し、水道水の安定供給が図られる。</p> <p>法定耐用年数を超えた設備の更新率 100%（令和5年度） 基準値 0%（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和4年度				
事業期間の設定理由	令和4年度までに施設の更新を完了するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和5年度		
	法定耐用年数を 超えた設備の更 新率	機器の更新率 (更新機器÷更 新予定機器) 100%	成果実績	%			
			目標値	%	100		
			達成度	%	0.0%		
	評価年度の設定理由						
	事業完了時に成果が把握できるため令和5年度に評価						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、泊浄水場の建築補修と機械・電気設備の更新を行うことができました。引き続き改修工事を行い、衛生的に取水が行われるようにし、地域住民の環境衛生の向上に寄与するように事業に取り組んでまいります。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	期間内工事進捗量 (工事完了率÷予定完了率)		活動実績	%	100		
			活動見込	%	100		
			達成度	%	100.0%	0.0%	0.0%
交付金事業の総事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考			
総事業費	340,670,000						
交付金充当額	340,600,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	340,600,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
泊浄水場改修工事（建築主体）		指名競争入札		佐竹建設(株)（岩内町）		154,770,000	
泊浄水場改修工事（機械設備）		指名競争入札		新栄クリエイト(株)（札幌市）		185,900,000	
交付金事業の担当課室	泊役場企画振興課						
交付金事業の評価課室	泊役場企画振興課						

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
12	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	神恵内保育所等複合施設整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		神恵内村
交付金事業実施場所		神恵内村
交付金事業の概要	<p>現在の神恵内保育所は、昭和55年に建てられ、配水管の老朽化が著しく保育業務に支障が生じているとともに、海拔6mで海から500mの地点に立地していることから、神恵内村のハザードマップにおいて津波浸水地区に指定されており津波の被害が懸念されている。また、保育所の他に村内の子育て支援制度として、乳幼児とその親を対象として地域子育てセンターと小学生を対象とした放課後児童クラブがあるが、地域子育てセンターは漁村センターの婦人研修室で実施しており、婦人研修と重なると利用できなくなる状況にある。そのため、老朽化に伴う保育所の高台への移転に併せて、これまで分散していた地域子育てセンター、放課後児童クラブの一元化を図る。</p>	
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>「神恵内村総合振興計画」（平成22年度～令和元年度）</p> <p>1. 自然に抱かれたぬくもりのある暮らしづくり</p> <p>4) 地域で見守る社会福祉の充実 子育て支援の充実</p> <p>○子育て施設の管理体制の一体化の推進 これから本村の目指す”子育てしやすい村づくり”のためにも、各種子育て支援策の充実に向けて取り組んでいきます。</p> <p>当事業の実施により、1か所で総合的な子育て支援サービスを実施することにより、子育ての拠点として、乳幼児から児童までの子どもやその親が成長段階にかかわらず気軽に同じ場所に集まることができ、保育士や放課後指導支援員などの施設の垣根を越えた情報交換などを通して子育てサービスの向上が図られるとともに、津波による被害の心配もなくなり、地域住民の安心・安全に大きく寄与する。</p> <p>保育士と放課後指導支援員との情報交換の開催 年12回（令和2年度） ※基準額 年0回（平成30年度）</p>	

事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度			
事業期間の設定理由	令和元年度までに施設の整備を完了するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度	
	情報交換の開催	情報交換の開催 年12回	成果実績	回		
			目標値	回	12	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	整備後の実績を調査し評価へ反映させるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
共生交付金の活用により、神恵内保育所等複合施設を整備することができました。今後は、子育ての拠点として各種子育て支援策の充実に向けて取り組んでいきます。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	期間内工事進捗率 (工事完了率÷予定完了率)	活動実績	%	100		
		活動見込	%	100		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	353,650,000円					
交付金充当額	273,865,000円					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	273,865,000円					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
建築主体工事		指名競争入札		佐竹・鈴木・高橋工務店特定建設工事共同企業体（岩内町）		237,050,000円
機械設備工事		指名競争入札		㈱進栄（岩内町）		67,100,000円
電気設備工事		指名競争入札		㈱共和電工（共和町）		49,500,000円
交付金事業の担当課室	企画振興課					
交付金事業の評価課室	住民課					